

脱炭素経営を後押し

県庁でキックオフセミナー

脱炭素経営を取り巻く現状について説明する石川社長



脱炭素化に取り組む企業を後押しするため県が本年

度から取り組む「ぐんま脱炭素経営お悩み相談窓口」

のキックオフセミナーが6日、県庁32階の官民共創スペース「ネッゲン」で開かれ、オンラインを含め約70人が参加した。

同セミナーは、県から委託を受けた一般社団法人ぐんまカーボンニュートラル推進会（高崎市、赤尾佳子代表理事）が実施。脱炭素経営を取り巻く現状と相談窓口の紹介について、同推進会の設立に関わった三究知（同市）の石川智治社長が説明した。中長期で二酸化炭素（CO₂）排出削減の目標設定を掲げることが、「気候変動の抑制につながるだけでなく、自社の企業価値向上、ひいてはビジネスチャンスの獲得に結び付く」と強調した。